

# ⚠ 訂正とご注意

## Web Wizard ・ Express ACCess

この度は、CONGOをご購入いただき誠にありがとうございます。今回のリリースに含まれる Web Wizard、Express ACCessを使ってCONGOを設定する場合、施した設定がCONGO不揮発性メモリーに保存されません。 この文書は、これらの設定ユーティリティを設定した内容を不揮発性メモリーに保存する手順を補足説明したものです。

### Web Wizard

「簡単インストールガイド」や「User's Guide Manual」の手順にしたがい、Web Wizard Version 4.4でCONGOの設定を行うと、Web Wizardで施した設定が不揮発性メモリーに保存されないため、次の起動時にCONGOが工場出荷時の状態に戻ってしまいます。Web Wizard Version 4.4を使用したCONGOの設定手順を以下のように補足・訂正いたします。

- (1) 「簡単インストールガイド」や「User's Guide Manual」の手順にしたがい「General Configuration」や「From your Network Administrator or Internet Service Provider」画面で必要事項を設定します。
- (2) Web Wizardの「From your Network Administrator or Internet Service Provider」画面の「Activate Settings」ボタンをクリックします。クリックによって、Web Wizardで作成した設定スクリプトがLAN経由でCONGOに送られますが、その設定はCONGOの不揮発性メモリーに保存されていません。
- (3) Telnetまたはコンソールターミナルを使用して、CONGOにログインし、「set configuration save」コマンドで設定を保存してください。下記は、Telnetでログインした例です。Telnetで指定するCONGOのIPアドレスは、Web Wizardで設定したCONGOのIPアドレスを指定してください。

```
Login: netman
Password: netman
.....
PROMPT:NOT SAVED* set configuration save
.....
PROMPT>
```

---

**注意** Web Wizard や CONGO に関する最新情報は、当社のホームページ (<http://www.allied-tesis.co.jp/>) をご覧ください。

---

### Express ACCess

Express ACCess を使用して CONGO に設定を施すとき、Express ACCess を実行しただけでは、設定が不揮発性メモリーに保存されないため、次の起動時に CONGO が工場出荷時の状態に戻ってしまいます。Express ACCess を終了したら、「User's Guide Manual」、「取り扱い説明書」に記載の手順にしたがって「set configuration save」コマンドで設定を保存してください。